

議会だより

No. 182

2017

H29 9月定例会

祝 平成29年度 壬生町敬老のつどい



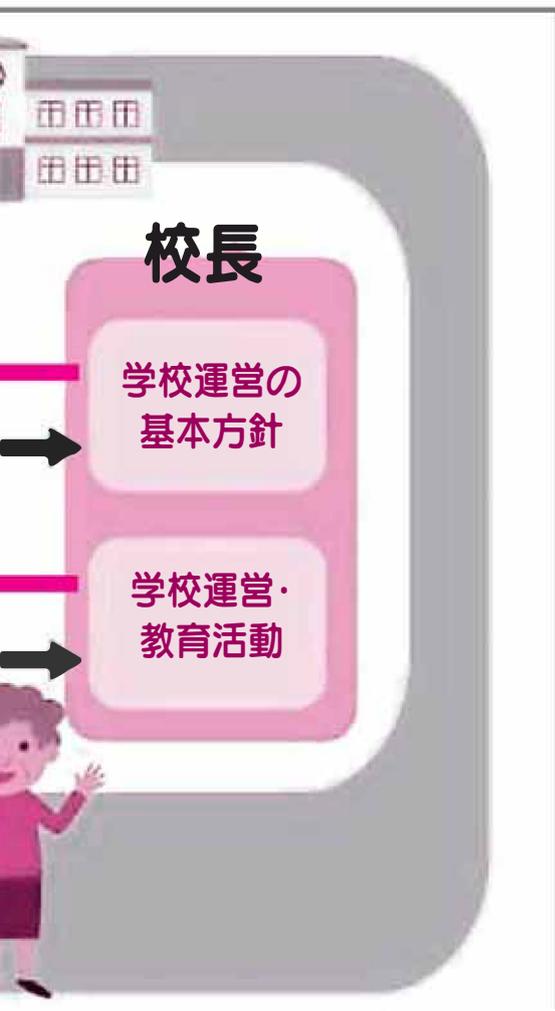
目次 CONTENTS

◆「地域とともにある学校づくり」

- 学校運営協議会の設置.....2~3
- ◆9月定例会で決められた概要4~5
- ◆決算審査総括意見等6
- ◆庁舎建設特別委員会を設置等7

- ◆委員会審査.....8~9
- ◆議案に対する賛否状況.....10
- ◆一般質問11~16
- ◆委員会研修レポート17~19
- ◆その他20

平成32年までに
全校設置を目指す！



問 委員の人数は一校当たり最大9人なので、
で、
大人数の委員になるのか。

答 設置要綱・条例の制定予定は、
運営協議会規則を制定します。

ここがききたい！

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び
費用弁償に関する条例の一部改正

決定

学校運営協議会委員に対する報酬を
年額 15,000円と定める

提案理由より

学校運営協議会とは

学校運営協議会の目的

保護者及び地域住民への学校運営への参画を促進し、地域とともにある学校づくりを進めることにより、学校と保護者、地域住民等とが互いに信頼を深め、一体となって学校運営の改善や児童及び生徒の健全育成に取り組むこと。

委員（校長を含む9人以内、任期1年）

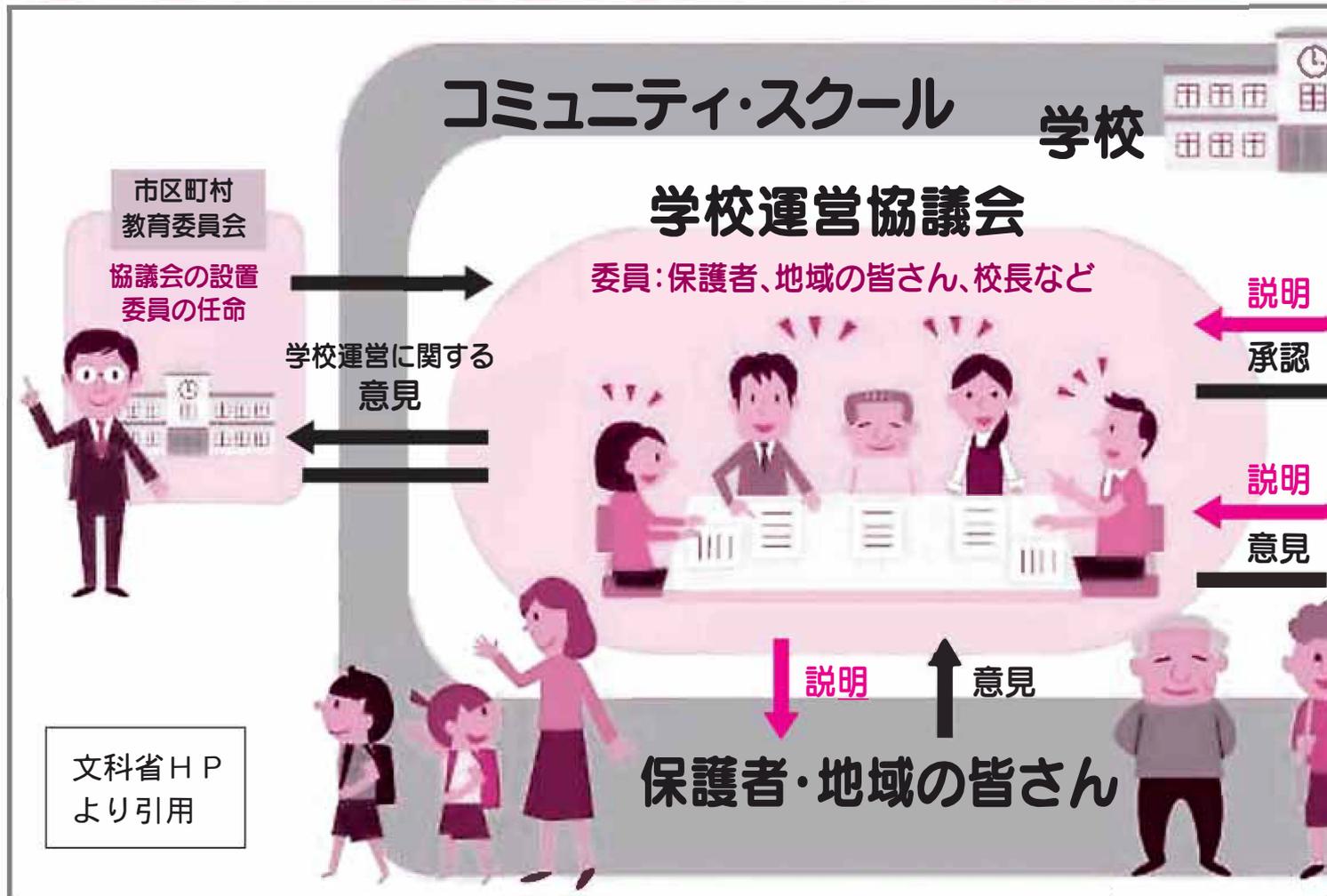
- ・ 児童又は生徒の保護者
- ・ 地域住民
- ・ 地域学校協働活動推進員
- ・ その他、教育委員会が適当と認める者

権限

- ・ 運営に関する基本方針についての承認
- ・ 学校運営について教育委員会・校長へ意見を述べるができる。
- ・ 保護者・地域住民の理解・協力・参画が促進されるための協議、地域への発信
- ・ 運営状況の評価

「地域とともにある学校づくり」

学校運営協議会の設置



- | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------------------------------|---|--|---|----------------------------------|---|
| 答 | 問 | 答 | 問 | 答 | 問 | 答 | 問 | 答 |
| | 指定の取り消しを教育委員会が一方的に行わないための、細則が必要では。 | | か。 | | か。 | | か。 | |
| | 運営に支障があり、目的が達成できない場合、教育委員会が取り消しを行う旨、規則に明記されています。なお、取り消しに至る前に原因を究明し、改善を促します。 | | 本町では教職員の人事について意見を述べる権限は含みません。 | | 学校と同じ立場であり、合議制で地域の子どもを育てていく意味です。 | | 協議会の「責任」とはどのような意味か。 | |
| | | | 教員の教育指導にまで意見が及ぶのか。 | | 委員である地域学校協働活動推進員の育成が必要となります。次年度、希望する学校から実施し、体制が整ったところから順次取り組みます。 | | 「次年度に1〜2校程度の設置」では曖昧である。具体的な計画は。 | |
| | | | | | | | 委員は学校の規模により、校長が推薦するため、一定ではありません。 | |

決算を認定

9月定例会

幸せ実感 住みよい“壬生町”

平成29年第3回定例会は9月1日に招集され、9月15日までの15日間の会期で開かれました。今回の定例会は、町長から提出された条例の改正4件、人事案件3件、補正予算6件、決算認定8件の21議案と議員提出議案2件とその他1件が上程され、いずれの議案も原案のとおり議決しました。

決算認定討論

【一般会計】

反対討論

小貫 暁 議員



歳入については、滞納整理と称して厳しい生活を余儀なくされている世帯に対し、極めて少額な差し押さえを強行しているのではないかと。滞納処分執行停止要件に留意した執行を強く求める。また地方消費税交付金及び自動車取得税交付金の予算額と決算額が大きく乖離しており、結果として多額の繰越財源が生じていることは単年度会計の原則に反するものだ。歳出では、職員数が減少する一方で非正規職員が増加しているが、賃金改定は長期間実施されず大量のワーキングプアを生んでいる。非正規労働の固定化や拡大からの撤退を求める。国民合意の無いマイナンバー事業はセキュリティ面等の不安が払拭されず、何より住民は制度の必要性を感じていないのではないかと。子育て支援策はこの数年ほとんど進展がなく、対策が棚上げになっているのでは。町図書館の指定管理者制度は資料保存業務等の観点から賛成できない。これらの事業の具体的改善を求め反対します。

賛成討論

坂田 昇一 議員



歳入面では、地方創生推進のための各種補助金の積極的な導入、また産業団地に進出した企業の影響による固定資産税の増加やふるさと応援寄附金の増収など、財源確保の姿勢が見受けられるとともに今後の発展に期待がもてるものです。歳出では、国の認可を受けた「地方創生推進事業」の健康スポーツ・観光振興・婚活事業など新たな取組みが感じられます。自治会管理防犯灯が全て町に移管となりLED化がなされ、自治会の負担が軽減されました。町内の民間幼稚園に補助金を交付することで認定こども園が整備され、子育て環境の充実や待機児童の解消が進められました。雨水に苦しめられていた六美地区雨水排水対策事業が完了し、住民生活の向上に寄与しました。防災士の養成が行われ、各自治会に資格を取得したリーダーが誕生し、有事の際に地域のまとまりやきめ細やかな対応が可能になるものと思われまします。このように堅実で魅力的な取り組みがなされていますので、賛成です。

【国民健康保険特別会計】

反対討論

小貫 暁 議員

国が医療に拠出する公的負担抑制策をとり続けてきた結果、加入者の負担は限界に達しており、当町の国保税収納率は71・1%にとどまっている。国庫負担の減額が加入者に重くのしかかるとともに運営する保険者の負担に転嫁され、低所得のために国保税を滞納している世帯に対してまで資格証明書や給付の制限を拡大した結果、短期保険者証240世帯、資格証明書88世帯という現状は、皆保険制度をむしばむ姿勢であり容認できないため、反対です。

賛成討論

大島 菊夫 議員



歳入については、国・県の負担金や補助金の確保に鋭意努力し、また国保税のコンビ二納付などの納税環境整備や、滞納整理においては早期の納税催告・相談による収納率の向上と負担の公平性の確保に努めていることが伺えます。歳出では出産育児一時金の交付など子育て世代への負担軽減の配慮がなされていることや、生活習慣病予防のための特定健康診査・人間ドック検診への助成などにも積極的に取り組み、増大する医療費を抑制するための対策がなされていますので賛成です。

平成28年度 「子育て・健康・壬力がキラリ」

質疑、討論等により活発に審議が行われました

一般会計決算

歳入 130億8,617万5,237円

歳出 126億2,905万9,952円

特別会計決算

国民健康保険特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計については、起立採決により、賛成多数で認定となりました。

公共下水道事業特別会計、奨学資金特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計については、全議員一致で認定となりました。

平成29年度 補正予算を可決

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計（第2号）	5億209万5千円	126億7,743万4千円	主要な一般財源である普通交付税の確定並びに平成28年度決算に伴う財源の全体的な見直し等によるもの。 ・財政調整基金費 1億9,401万4千円 ・産業振興基金費 1億円 ・国民健康保険特別会計繰出金 8,969万7千円 ・清掃センター改修等工事 5,207万4千円	
特別会計	国民健康保険（第1号）	2億1,761万2千円	56億6,823万3千円	平成28年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。 ・償還金 5,026万4千円 ・一般会計繰出金 1億7,032万6千円
	公共下水道事業（第1号）	559万9千円	15億7,995万8千円	施設の維持管理上緊急を要する修繕工事費用等によるもの。 ・流域関連公共下水道施設管理費 330万円
	介護保険事業（第1号）	7,574万3千円	29億9,303万5千円	平成28年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。 ・介護給付費準備基金積立金 3,860万3千円 ・償還金 2,668万8千円 ・一般会計繰出金 1,305万5千円
	農業集落排水事業（第1号）	▲921万2千円	4億4,451万6千円	職員給与費、公債費、繰越金の精査によるもの。 ・職員給与費 ▲803万5千円 ・農業集落排水事業債償還利子 ▲89万7千円
	後期高齢者医療（第1号）	232万7千円	3億9,580万1千円	平成28年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。 ・広域連合納付金 134万5千円 ・一般会計繰出金 68万3千円

決算審査総括意見（要旨）



代表監査委員
熱田幸一 氏

「平成28年度壬生町一般会計

並びに特別会計決算に係る審査

及び基金運用状況に係る審査」、

「水道事業会計決算に係る審査」、

「決算に係る健全化判断比率及

び資金不足比率の審査」につい

て、各会計の歳入歳出決算書、

歳入歳出決算事項別明細書、実

質収支に関する調書及び財産に

関する調書は、いずれも地方自

治法等に準拠して作成されてお

り、決算計数についても関係諸

帳簿、証書類と合致しており、

予算執行に関する事務処理は概

ね適正であると認められました。

町の財政構造は、経常収支比

率については、前年度より2・

6ポイント上がり88・7%とな

り、依然として高い財政構造の

硬直化が続いていることから、

経常経費の抑制・削減に努める

よう求めました。また財政力指

数についても、僅かながら改善

がみられましたが、引き続き新

たな自主財源の創出、地道な税

収等の確保に向けた取り組みの必

要性について、意見を付したと

ころです。

これからも、全庁を挙げて良

質な町民サービスの提供に努め

るとともに、これまで以上に堅

実な行財政運営に取り組むこと

が肝要です。事業の選択と集中

を図り、必要性のほか、経済性、

効率性及び有効性などに十分配

慮し、健全かつ持続可能な行財

政運営と人材育成に努められる

よう期待するところです。

水道事業会計においては、

経営成績、財政状態を見まして

も、引き続き安定した財政の健

全性が維持されていることを確

認しました。

今後、大幅な給水収益の伸び

は期待できない状況ではありま

すが、大規模開発に伴う水需要

の増加が見込まれる中、順次老

朽化する施設や管路の更新、耐

震化への対応に多額の資金が必

要になることが見込まれます。

これらを踏まえ、今後の事業

経営にあたりましては、企業債

残高の縮減や効率的な事業の推

進による費用の削減により、健

全性の維持向上を要請しました。

決算に係る健全化判断比率及

び資金不足比率等は、実質公債

費比率が前年度より0・1ポイ

ント改善の5・9%で、健全化

基準の25・0%を大幅に下回る

比率となっています。

その他につきましては、赤字

額や負担額、不足額等が生じて

おらず、健全な財政運営が図ら

れている事を確認し、是正改善

を指摘すべき事項は特にないこ

とを報告します。



議会選出監査委員
榎井 聰 氏

人事案件

人権擁護委員の
推薦に同意



平成29年12月31日任期満了
後藤 信樹氏(通町)を再任すること
として推薦することに同意しました。

固定資産評価
審査委員会委員を再任



平成29年 9月30日任期満了
石江 正展氏(羽生田)
の再任に同意しました。

教育委員会
委員を再任



平成29年12月22日任期満了
藍田 收氏(本丸一)の
再任に同意しました。

—庁舎建設に向けて—

庁舎建設特別委員会を設置

庁舎建設は、町としての最重要案件であることを踏まえ、議会としても全町的な視野に立ち、様々な課題を把握・検証するとともに、継続的な調査・研究を図っていくことを目的とし、議員提出議案により庁舎建設に関する特別委員会の設置を決議しました。

委員長 細 井 敬 一
副委員長 河野辺 恒 雄
委 員 遠 藤 恭 子 ・ 赤羽根 信 行 ・ 小 牧 敦 子
坂 田 昇 一 ・ 玉 田 秀 夫 ・ 田 村 正 敏
中 川 芳 夫 ・ 市 川 義 夫 ・ 鈴 木 理 夫
榆 井 聰 夫 ・ 大 島 菊 夫 ・ 落 合 誠 記
高 山 文 雄 ・ 小 貫 暁

意見書の提出

9月定例会において、議員提出議案（意見書）を1件可決し、関係機関へ提出しました。

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の特別措置の継続に関する意見書（要旨）

提出者 壬生町議会議員 田村 正敏
賛成者 壬生町議会議員 中川 芳夫
" " " 落合 誠記
" " " 市川 義夫
" " " 鈴木 理夫

現在道路事業においては、交付金事業等の補助率が高上げされているが、平成29年度までの時限措置となっている。地方創生に全力で取り組んでいるこの時期に補助率が低減することは地域の活力の低下を招きかねない。よって来年度以降も着実な道路整備の推進により地域の活性化が図られるよう次の事項について強く要望する。

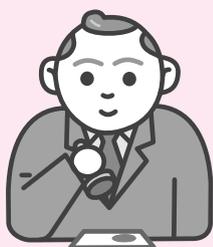
記

一、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率の嵩上げ措置については、平成30年度以降も現行制度を継続すること
一、長期安定的に道路整備が進められるよう、平成30年度道路関係予算は所要額を確保すること

陳情の審査結果

9月定例会で、審査が終了した陳情は次のとおりです。

不採択に
なったもの



陳情第4号 「大規模木質バイオマス発電施設建設」に関する陳情

提 出 者……壬生町大字壬生丁208-9
壬生町の水と環境を守る会
会長 本田 保夫

陳情第5号 県立高等学校入学選抜で再募集を実施することを求める意見書にかかわる陳情

提 出 者……宇都宮市兵庫塚3丁目10-30
全栃木教職員組合
執行委員長 糸川 祥一

委員会審査

各常任委員会は9月4日から14日まで、各会計決算の全般にわたり慎重に審査を行い、常任委員長が本会議で報告をいたしました。

主な審査内容は、次のとおりです。



田村建設経済常任委員会委員長



遠藤教育民生常任委員会委員長



河野辺総務常任委員会委員長

総務常任委員会

委員長	河野辺恒雄
副委員長	大島 菊夫
委員	細井 敬一
”	榆井 聰
”	赤羽根信行
”	小牧 敦子

庁舎用地取得事業での用地取得の面積と単価はどれくらいか。また、更地の値段での購入か

m²単価は、2万8千5百円と3万2千6百円の2価格、合計面積は、1千193m²で、更地購入です。

消防団の水防備品についてと、自主防災組織の在り方について

水防関係では、ライフジャケットが各部三着配備されており、自主防災組織については、研修等で自助・共助の重要性をPRし、浸透化を図っているところだ。

地方創生のツール・ド・とちぎ開催事業、一市二町プロジェクトは、まちにはどのような効果があったか

ツール・ド・とちぎ開催事業は、直接的なメリットはありませんでした。最終ゴール地で町とみぶブランドのPRをするなど、大いに意義があったと思います。

一市二町プロジェクトは婚活事業になります。首都圏から人を呼び込む地方創生の一環として実施され、町としても、町民の成婚率を上げるよう検討していきたいと考えています。

固定資産税課税用資料整備事業の概要について

通年の業務の下落修正、地番図の分合筆、地図システムの修正ほか、三年に一度の評価替えのために適正化補正業務、不動産鑑定業務、土地評価補正業務等に係る費用となります。



採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計決算認定（所管事項）、国民健康保険特別会計決算認定（所管事項）、介護保険事業特別会計決算認定（所管事項）、後期高齢者医療特別会計決算認定（所管事項）につきまして、全委員異議なく原案のとおり認定することに決しました。

教育民生常任委員会

委員長 遠藤 恭子
副委員長 高山 文雄
委員 小貫 暁
" 坂田 昇一
" 玉田 秀夫

病児保育事業の詳細

ステラ保育園は病後児保育ということ、町内在住で病気がある程度治ってきていても小学校、幼稚園、保育園に行けない子供を全員受け入れるものです。事前に診断書が必要で、1日2千円の料金がかかります。メリーランド保育園と森の子保育園に関しては、園児が体調を崩した時に、看護師が病児保育室で通常のお迎え時まであずかります。

母子健康教室相談事業での臨床心理士の役割とは

昨年度から、発達支援のサポートとして実施しています。検診等で発達の遅れがある子供や支援の必要な保護者に対し、専門的な相談の場を設け、保護者へのアドバイスを行うことが中心となります。

国民健康保険について

平成28年度の被保険者は平均で1万783人、世帯数は平均6千96世帯、短期保険者証の世帯が平成29年2月1日時点で240世帯、資格者証が88世帯となります。町の予算で給付している額として、高額療養費を含め、医療費は約30億1千8百万になります。

採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計決算認定（所管事項）、国民健康保険特別会計決算認定（所管事項）、後期高齢者医療特別会計決

算認定（所管事項）は、賛成多数で原案のとおり認定することに決しました。奨学資金特別会計決算認定は、全委員異議なく原案のとおり認定することに決しました。介護保険特別会計決算認定（所管事項）は、可否同数により、委員長裁決で原案のとおり認定しました。



建設経済常任委員会

委員長 田村 正敏
副委員長 中川 芳夫
委員 落合 誠記
" 市川 義夫
" 鈴木 理夫

デジタルトイモージアム事業は

新しいキャラクターの「ミュートイ」がタブレット上でおもちゃ博物館を案内するアプリの作成や、ホームページのリニューアルを行いました。来場者は対前年比110%の増加と好調で、ディスプレイキャンペーンも含め今後もPRしたいと考えています。

道路維持費の優先順位

は、修繕等については、

危険性、交通量、周辺の状況などを総合的に検討し、優先順位をつけて施工をします。

六美吾妻線交通量調査等業務は

六美吾妻線を整備すると将来交通量がどのように変化するか、周辺の路線を含めて推計を取りました。結果2車線が適正と言う結論になりましたので、現在県と協議を進めています。

管渠管理費のマンホール蓋等修繕は

実施件数の約半分近くが道路改良工事に伴うものですが、マンホール蓋に加えその受け枠も交換となるケースが多く、その経費がかかります。

採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計決算認定



（所管事項）、公共下水道事業特別会計決算認定、農業集落排水事業特別会計決算認定、水道事業会計決算認定につきまして、全委員異議なく原案のとおり認定することに決しました。

議案に対する賛否状況

※鈴木理夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	遠藤 恭子	赤羽 根信行	河野 辺恒雄	小牧 敦子	坂田 昇一	玉田 秀夫	田村 正敏	中川 芳夫	市川 義夫	榎井 聡	大島 菊夫	落合 誠記	高山 文雄	細井 敬一	小貫 暁
議案第1号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (「学校運営協議会」を設置するにつき、「学校運営協議会委員」を追加するための改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町税条例の一部改正について (配偶者控除・配偶者特別控除の見直しに係る所要の改正、固定資産税について「地域決定型地方税制特例措置(通称：わがまち特例)」に係る所要の改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第3号	壬生町都市計画税条例の一部改正について (固定資産税同様「地域決定型地方税制特例措置(通称：わがまち特例)」に係る所要の改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について (保育園等に入園するときに保護者が行う手続きの中で、子どものための教育・保育給付の支給認定証の交付を任意とすることに伴う所要の改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町教育委員会委員の任命について (藍田 収氏の再任につき議会の同意を求める)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について (石江正展氏の再任につき議会の同意を求める)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (後藤信樹氏の推薦につき議会の意見を求める)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成29年度壬生町一般会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成29年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成29年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成29年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成29年度壬生町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成29年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成28年度壬生町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成28年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第16号	平成28年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第17号	平成28年度壬生町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成28年度壬生町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成28年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案第20号	平成28年度壬生町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成28年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第22号	平成28年度壬生町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	庁舎建設特別委員会の設置について (議会において、庁舎建設に関する必要な事項についての調査・研究を行うため、特別委員会を設置)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の特別措置の継続に関する意見書の提出について (現在の補助率の嵩上げ措置を、平成30年度以降も現行制度で継続すること、及び平成30年度予算は所要額を確保することを国へ求める)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

ここが聞きたい 一般質問 Q&A

今後の庁舎整備の進め方を問う

副町長 町民全体の意見を反映して進めていきたいと考えています



市川 義夫 議員

問 庁舎整備に関する今後の具体的なスケジュールは。

副町長 国の市町村役場機能緊急保全事業を活用し、同事業が期限となる平成32年度の竣工を目指していきます。

問 事業を進めるうえで町の基本的な考え方は。

副町長 町の活性化や防災力の強化、住民サービスの向上や本町の今後のまちづくりの拠点を整備するなど、幅広い観点で事業を進めていきたい

りの推進、地域の連帯意識の高揚など協働のまちづくりを進めていく上で欠かすことの出来ない組織であると考えています。自治会組織の活性化と活動の充実を図るため、安全安心の確保として防犯・防災事業、道路や河川の愛護、環境美化活動などに対する支援を行っていきます。

問 自治会加入者の減少の実態を踏まえ、加入率アップに向けた町としての取り組み状況は。

民生部長 現在、加入促進啓発の一環として、転入者に対し自治会のパンフレットを配布するとともに、地域住民間の絆を深めるために実施する各種事業に対し、さまざまな支援を行っています。

産業団地整備に関する取り組み状況、今後の方針は

問 工業立地の傾向と企業ニーズに関する把握・分析状況等は。

経済部長 本年3月に経済産業省より発表された昨年1年間の工場立地動向調査によると、本県の製造業等の工場立地件数、立地面積が、前年度を下回る結果となりました。要因は、企業誘致をめぐる自治体間競争が激しくなったことや、販売可能な産業用地の面積が減少していることが考えられます。

問 産業団地の整備に対する要望書が提出されている「五反目地区」の検討状況等は。

経済部長 昨年度に実施した産業基盤整備基礎調査において、新産業団地整備検討地区として、現地踏査や構想図の作成、解決すべき課題等の整理を行いました。



いきいきふれあい応援事業を活用した活動状況

ここが聞きたい 一般質問 Q&A

空き店舗を活用し地域活性化を目指せ

副町長 魅力ある商店街づくりに励みます



赤羽根 信行 議員

問 国民経済の健全な発展及び国民生活の向上を図る為の、中小企業振興条例化を急げ。

副町長 昨年11月、町商工会からの小規模企業振興に関する条例の制定についての要望書の提出を受け、県内の状況を調査するなど、制定に向け検討を始めたところです。

問 ボランティア活動や、消防団活動への理解を深めるための、小中学生への周知活動を。

教育長 学校教育においては、まず世のため人のために役に立つという意欲を育むこと

が、一番重要と考えています。今後、コミュニティスクールの導入、増加が、地域社会の抱える様々な課題解決のきっかけになると捉えています。

問 まちなか出店事業の進捗状況は。

副町長 壬生駅周辺で1店舗、おもちゃのまち駅西口で1店舗、計2店舗の申請を受け、開店に向けて準備中です。さらに加えて1件の相談を受けています。

問 ブランド推進事業はまだまだ広がりを見せていない、現在の状況と今後の取り組みは。

副町長 現在、計28品が認定

品となっています。各種イベントへの出店では、町が段取りして希望事業者を募り出店していますが、ショッピングセンター等への出店では各事業者が個々に出店契約をしなければならぬため、今後は組合の設立のみにこだわるのとなく、一括での契約や納品ができるような体制を構築していくことが必要と考え、町として体制整備を支援したいと考えています。

安全・安心のまちづくりを目指せ

問 「消防団員応援の店」の導入、「協力事業者認定」などの施策状況は。

総務部長 消防団員応援の店については、現在1件の登録申請を受けています。今後訪問等を実施し、認定登録が増加するよう努力したいと考えています。消防団協力事業所については、29事業所が認定となっています。



「みぶブランド」の冊子

不登校56人は危機的状況では

教育次長 各機関連携して総合的に取り組みます



小牧 敦子 議員

置されている家庭相談員もSSW的な役割をしています。

問 人口規模が同じ自治体同様、教育委員会の指導主事を増員する考えは。

教育長 壬生町より少ない人員の自治体もありますので、県内各地の状況を確認し、検討材料とします。

犬・猫の殺処分ゼロを目指して

問 オスの犬・猫に対する去勢費用補助を拡充する考えは。

民生部長 平成28年度より犬及び猫の不妊手術費補助を開始したばかりですので、今後その効果、需要等を見きわめながら、検討していきます。

問 本町の公共施設における盲導犬受け入れはどのようか。

経済部長 本町では、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第9条の規定に基づき、壬生町における障害を理由とする差別の解消の推進

進に関する対応要領を、平成29年4月1日から施行したところです。町内の公共施設への盲導犬の同伴について、これまで把握している事例はありませんが、補助犬を持つ方ともよく話し合い、法の趣旨にのっとり、適切な対応に努めます。

問 本町の不登校の要因は何か。

教育次長 一つの不登校に対し、複数の要因が認められるものがほとんどですが、平成27年度最も多い要因が学業不振43%、次にいじめを除く友人関係が41%、親子関係、家庭内不和、その他家庭生活にかかわる問題36%、入学、転編入学、進級時の不適応25%が主なものとなっています。

問 不登校対策に福祉のケア・支援ができるSSW（スクールソーシャルワーカー）の配置はいかがか。また、SSWに関する国の通達に対し検討はされましたか。

教育次長 SSWについては下都賀教育事務所に1名おります。問題のある児童がいた場合には、そのSSW、家庭教育支援員、学校の教員、教育委員会、それら全てがチームとして集まり対応しています。また、こども未来課に配

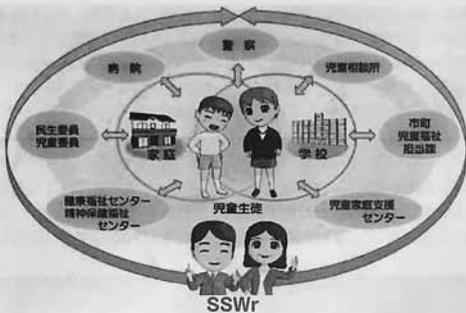
置られています。また、こども未来課に配

スクールソーシャルワーカーについて

“スクールソーシャルワーカーってどんな人？”

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家です。

文部科学省「生徒指導提要」より



SSWrは、問題の解決に向けて、児童生徒本人やその家庭、所属している学校と地域に存在する「社会資源」（福祉や医療、健全育成等を担う機関や人など）を“つなぎ”、“調整”しながら、支援体制を“構築”していきます。また、児童生徒やその家族の思いを“代弁”しながら学校や関係機関と連携を図っていきます。

スクールソーシャルワーカーとは（文科省HPより）

ここが聞きたい Q&A

一般質問

安塚地区雨水対策の計画を問う

建設部長 安塚南部地区の整備を予定しています



中川 芳夫 議員

問 健康づくりへの活用としての考えは。

問 国体種目としての選手育成への考えは。

建設部長 昨年度は雨水排水に苦慮している2か所で雨水対策検討業務委託を実施したところであり、今後検討結果を踏まえ、対策に努めていく考えです。

工事箇所は小林街道の南側地区になります。

ボルダリング設備の活用方針について

教育次長 スポーツクライミング体験教室等の開催を検討し健康マイレージ事業とのマッチングを図り、健康づくりに寄与していきたいと考えています。

教育次長 選手の発掘・強化を図るため、町のスポーツクライミング競技大会の開催や強化選手を対象とした練習会の実施を検討しています。

問 北部第3雨水幹線は、いつから何年計画で雨水排水の整備を行うのか。

建設部長 平成31年度より6か年の計画で幹線整備を予定しています。

ルの幹線管渠を埋設する計画で4か年での整備を予定しています。

問 北部第3雨水幹線の南側の雨水対策は。

建設部長 安塚南部地域の市街化調整区域については、今回の排水区域には含まれていません。

問 北部第2排水区処理区域内の雨水対策、現在工事中の場所の進捗状況は。

建設部長 県道宇都宮・栃木線安塚バイパスを縦断し、旧県道の整備は南犬飼郵便局手前までの約1・1キロメートル

問 旧県道にどこまで排水管をいれるのか。整備年数は。

教育次長 おもちゃ博物館では主に幼児に、小・中学校では授業で利用していただきます。また、学校体育施設開放事業を活用し、主に夜間や休日等には地域の方々に利用していただく予定です。嘉陽が丘ふれあい広場・町総合運動場体育館については幅広い年代の皆様にご利用いただける設備とし管理運営に努めていきたいと考えています。



雨水排水対策が急がれる安塚南部地区

ここが聞きたい Q&A

一般質問

ミニ開発地区スラム化への対応を問う

建設部長 解消に向けて調査検討、対策を講じます



落合 誠記 議員

太陽光発電施設開発への対応を問う

- ①本町設置の施設の位置、面積、発電出力等把握は。
- ②周辺住民からの苦情は。
- ③今後、町独自の規制案の検討は。

建設部長 ①10kw以上の発電施設は、211件、面積が47

万4043㎡。発電出力は2万450kwとなります。
 ②土地管理が不十分のため雑草が繁茂しているとの相談が一件ありました。
 ③県では国のガイドラインに基づいた太陽光発電施設の設置、運営等に関する指導指針の策定を進めており、本町も連絡会議に参加しています。

問 ①ミニ開発地区の空き家の状況把握を問う。
 ②引き込み道路の状況把握を問う。
 ③冠水・浸水への対応、整備計画を問う。

建設部長 ①自治会単位で実施しており、ミニ開発地区に限定した集計はしていません。
 ②私道が存在していることは承知していますが、総数、位置、整備状況については把握していません。
 ③雨水排水対策に積極的に取

り組んでいるところですが、今後、調査検討の結果を踏まえ、対策に努めていく考えです。
自治体経営リスクへの対応を問う

問 ①リスク管理型経営の見解と現状を問う。
 ②投機的自治体経営の見解と現状を問う。
 ③増分体質の見解と現状を問う。
 ④官民連携の見解と現状を問う。
 ⑤PDCAサイクルの見解と現状を問う。

総務部長 ①状況変化に対応すべく、国、県、近隣市町との情報交換を実施するなどして、最新情報を収集し、事前にリスクを回避するよう事業の推進に努めているところです。
 ②町民からいただいた要望等に対し、必要性、有効性、優先性、費用対効果等を総合的に考慮して、事業の是非を検討、決定しています。
 ③ゼロベースの視点に立ち、事業の集中と選択を行うことを基本とし、行政経営を行っていきたくと考えています。
 ④町民活動支援センターみぶりを開設し、各種住民団体の育成、支援に取り組んでいるところです。
 ⑤外部評価委員会での検証をしていただいております。町民目線の事業の評価を次年度以降の事業計画に反映することができるようになっています。



40年以上前に設置されたミニ開発地区の私道

7月4日と5日の2日間、議会運営委員会と議会広報特別委員会が合同で視察研修を実施しました。

議会運営委員会

タブレット型携帯端末機の導入と活用状況について

神奈川県寒川町
 委員長 細井 敬一
 副委員長 中川 芳夫
 委員 小貫 暁
 " 坂田 昇一
 " 田村 正敏
 " 赤羽根信行

議会運営委員会では、神奈川県寒川町議会を視察研修してきました。タブレット導入に関しては、共通認識として時代に即した議会運営の必要性を全員が持っていました。また、動機は東日本大震災で行政の貴重な書類が流失した事例などが後押しとなり、平成26年1月より議会改革の一環として本格協議を開始しました。導入の検討理由として、

- ①資料は年間約10万枚、膨大な資料の廃棄の削減。
- ②資料の作成、差し替え時間の短縮。
- ③資料の保管や廃棄処理コストの削減。
- ④白黒印刷で、図表や写真等を効果的に使えない。
- ⑤資料請求は会議中断もあり、非効率であるなどが挙げられた。



導入方針では、

- ①使用範囲は、議会活動及び政務活動のみ。
- ②データ化する範囲はすべての書類にする（一部を除く）。
- ③情報の即応体制整備や導入経費、維持管理コストが不要。
- ④セキュリティや災害リスクに対応できるクラウドシステムを採用しているなどでした。

導入には議会と執行部の同時実施が必要であり操作研修会を実施して、平成27年12月議会から正式運用開始（完全ペーパーレス化）が図られた経過を伺いました。質疑では、導入予算やタブレット研修会など活発な意見交流が生まれました。今後、研修を通じて学んだ先進的な改革事例を参考に、更に町民に開かれた議会改革を目指し推進していきます。

議会広報特別委員会

大胆なリニューアル

埼玉県小川町
 委員長 坂田 昇一
 副委員長 河野辺恒雄
 委員 田村 正敏
 " 小牧 敦子
 " 遠藤 恭子

議会広報特別委員会では、埼玉県小川町議会を視察研修してきました。研修内容は、「紙面づくりの取り組み状況について」と題し、活発な意見交換が生まれました。

小川町では、議会だよりの「紙面のリニューアル」を「冒険」と称し、度重なる協議・検討を行い、以下の6点にこだわりました。

- ①「読みやすい文字」
- ②「やさしい表現」
- ③「見やすい誌面」
- ④「親しみあるデザイン」
- ⑤「皆さんの声を大事に」
- ⑥「色への配慮」

その結果、今まで全く手にとつても見えなかった若い世代の方々には、非常にインパクトがあり、読むようになったとの声をいただき、リニューアル効果があつたとのことでした。



また、「議会広報全国コンクール奨励賞を受賞し、これにとどまらず、多くの声をいただきながら住民の一番身近にあるような紙面に仕上げていければ」と、常に改革心を持ち続けることに共感しました。

今回の研修において、リニューアルしたことにより幅広い世代の読者を得られたという成功事例を参考に、町民の皆さまに読んでいただける紙面づくりに取り組んでいきたいと思われました。

総務常任委員会

南魚沼版CCRC構想について

新潟県南魚沼市
委員長 河野辺恒雄
副委員長 大島 菊夫
委員 細井 敬一
" 榆井 聰
" 赤羽根信行
" 小牧 敦子

総務常任委員会では、新潟県南魚沼市のCCRC構想について学んできました。

南魚沼版CCRC構想は、カレッジリンク・新設移住型ということで、空家等を利用するものではなく、大都市から新しく移住していただくということを想定しながら、住居を整備するというのが構想の本体とのこと。

国が進める日本版CCRCは、「地方への新しい人の流れをつくる」ということが主目的ですが、それだけでは市にメリットがないため、総合戦略においてCCRCを基軸事業とし、若者の雇用の場を用意して定住してもらうことと、多様な施策をともに行っていく人材に来てもらうことを目的に、また、都会から移住してきた方々に再度ビジネスの場で活躍していただくためのビジネス研究会、若者に魅力のある職場を誘致するためにグローバルITパ

ーク、都会の企業等のサテライトオフィスの誘致等、市の持続的な成長に繋げていくということで、CCRC構想を単体としてではなく、基軸事業として行うとのこと。

南魚沼市は、「新幹線及び高速道路の両方に高い利便性」「四季豊かな自然環境」「国際大学や北里大学保健衛生専門学校との密接な連携」「高度医療を核とした地域医療」の4つの強みを活かし、地域に溶け込みながら進めていくことを考えているとのこと。

以上の説明を受け、今後の町の事業において役立てていきたいと思えます。

※CCRCとは
「Continuing Care Retirement Community」

の略称で、高齢者が健康な段階で移り住み、終身で暮らすことができる生活共同体。



教育民生常任委員会

子ども安心カードについて

群馬県渋川市
委員長 遠藤 恭子
副委員長 高山 文雄
委員 小貫 暁
" 坂田 昇一
" 玉田 秀夫

教育民生常任委員会では、群馬県渋川市の「子ども安心カード」について学んできました。

救急の観点からは、平成24年12月に他県で起きたアレルギー事故を受け、すべての事故に対応できるシステムを検討することになり、消防では連携を模索する動きがありました。学校の観点においては、家庭調査表や緊急連絡カードはありましたが、書式が不統一でした。そのため、緊急時に必要な情報が瞬時に見分けられないという問題があり、問題解決のため、書式を統一するよう工夫しました。

子ども安心カードの内容は、救急隊が必要とする情報等が記載されています。例えば、服用している薬品、アレルギーの有無、また、かかりつけの医療機関の連絡

先が瞬時に分かるようになっていきます。教育委員会で一括印刷をし、全学校園に配布しています。用紙は6千枚程度で金額にして1万5千円ということでした。

カード導入後、給食時に体調不良を訴えた児童がおり、救急隊がカードにアレルギーの保有者との記載を瞬時に確認し、ドクターへりを要請しました。幸い大事には至らず、無事に退院したそうです。

大切な子供の命を守るために私たち大人に出来ること。子ども安心カードはその第一歩だと思えました。



建設経済常任委員会

いま、まちなか再生へ

埼玉県本庄市

委員長 田村 正敏
副委員長 中川 芳夫
委員 落合 誠記
" 市川 義夫
" 鈴木 理夫

建設経済常任委員会では、埼玉県本庄市にて、「なぜいま、まちなか再生なのか」を学んできました。

本庄市は埼玉県の北西部に位置し、人口は現在約7万9千人ですが、2040年には約6万5千人となる見込みで、市内では年間100棟超の空き家が発生し、倒壊や雑草の繁茂など近隣住民は危険を感じる状態になっていました。

そこで、平成24年度にプロジェクトチームを立ち上げ、空き家等の適正管理に関する条例などを施行。管理不全で危険な状況にある空き家の除却を支援するための補助金の交付や、中心市街地に指定するエリア内の空き家を解体後にポケットパークとして整備する施策に取り組んできました。それら



により、危険排除やコミュニティが生まれ、新たなスポットの開発に繋がったとのこと。さらに本庄市立地適正化計画を策定することによって、より大きな民間開発等の介入も見据えているそうです。

本庄市では、荒れていくまちなかに対し、「このままで良いはずがない。景観は共有財産であり皆で美しくするもの。取り組まずでは後世から指弾を受ける」との思いのもと、明確な将来像を描いてまちなか再生に取り組んでいました。

議会への請願書・陳情書の出し方



請願書・陳情書の記載例

皆さんからの要望を町政に反映させる方法として、請願書・陳情書の提出があります。

提出にあたっては、次の事項に注意し、右の記載例を参考にしてください。

- ◆請願書・陳情書には、要旨と理由・要望事項を簡潔かつ具体的に書いてください。
- ◆請願書は、1人以上の紹介議員が必要です。
- ◆道路改良等の場合は、案内図・略図等を添付してください。
- ◆その他、詳細については、下記へお問い合わせください

壬生町議会事務局
TEL 0282-81-1865

〇〇〇〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 氏名 □□□□ ㊞

- 1 請願(陳情)の要旨
(請願・陳情しようとする内容を簡潔に、分かりやすく書く)
- 2 請願(陳情)の理由及び要望事項
(請願・陳情しようとする理由・要望事項を具体的に書く)

平成 年 月 日

壬生町議会議長 様

請願(陳情)者 住所
氏名 ㊞
電話番号

(法人・団体等の場合は名称と代表者名)

※陳情書の場合は、紹介議員は必要ありません

表紙写真の説明

壬生町敬老のつどい

壬生寺保育園「円仁太鼓」を披露

9月6日、多数の来賓の方々、約750名の招待者の参加をいただき、「敬老のつどい」が盛大に行われました。

壬生寺保育園園児による「円仁太鼓」の素晴らしい演奏や「ものまね歌謡ショー」などで、楽しく一日を過ごされたことでしょう。

これからも、毎日元気にお過ごしいただき、また来年もお会いしましょう。

河野辺恒雄

「ふるさとまつり」に参加



8月26日、町総合公園陸上競技場において、「ふるさとまつり」が開催されました。約3万3千人の来場者で賑わい、議員も「かんぴょう踊り」に参加し、たくさんの踊り手の方々とともに汗を流しました。

また、夜空を彩る約2,500発の打ち上げ花火の壮大な美しさと迫力に、会場からは、歓声と拍手が沸き起こっていました。

「ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」に参加

9月3日、町総合運動場で「第26回ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」（町ソフトボール協会主催）が開催されました。

清々しい秋空のもと、20チームが参加し、心地よい汗を流し、親睦を深めました。

議員も「ゆうがおチーム」として参加し、盛り上がり満ちた試合を展開しました。



編集後記

朝夕がめつきりと秋めいて、凌ぎやすい季節の到来です。実りの秋、食欲の秋、読書の秋、秋の夜長皆さんは何をして過ごしますか。

一昨年の関東・東北豪雨災害で水田が流され稲の植え付けが出来なかつた鯉沼地区では待ちに待った米の収穫が行われました。2年ぶりに稲刈りが出来た水田を眺め関係者は感無量の事でしょう。

今後とも、議会活動を皆様にお伝えするため分かりやすく、興味を持って読んでいただける紙面づくりに努めてまいります。

坂田昇一

議会広報特別委員会

委員長	坂田 昇一
副委員長	河野辺恒雄
委員	小牧 敦子
”	田村 正敏
”	遠藤 恭子